

2024-2025

公正取引委員会 内定者ハンドブック ～総合職～



JAPAN FAIR TRADE COMMISSION

Contents

1.内定者紹介 (p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

2.公務員試験 (p.9-14)

- ・ワンポイントアドバイス
- ・勉強スケジュール

3.官庁訪問 (p.15-25)

- ・事前準備
- ・当日について

4.最後に (p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

はじめに

2024年公正取引委員会内定者ハンドブックを手にとってくださりありがとうございます。
また、数ある進路の選択肢の中から公正取引委員会に興味を持っていただき嬉しく思います。
私たちの就職活動の経験を伝えることで、皆さんの不安や疑問が少しでも解消されれば幸いです。
このハンドブックを読んでもくださったみなさんと会える日を楽しみにしています。

2024年度公正取引委員会総合職内定者一同

1

内定者紹介

1-1

内定者基本データ (p.4-5)

1-2

内定者プロフィール (p.6-8)

2.公務員試験 (p.9-14)

- ・ワンポイントアドバイス
- ・勉強スケジュール

3.官庁訪問 (p.15-25)

- ・事前準備
- ・当日について

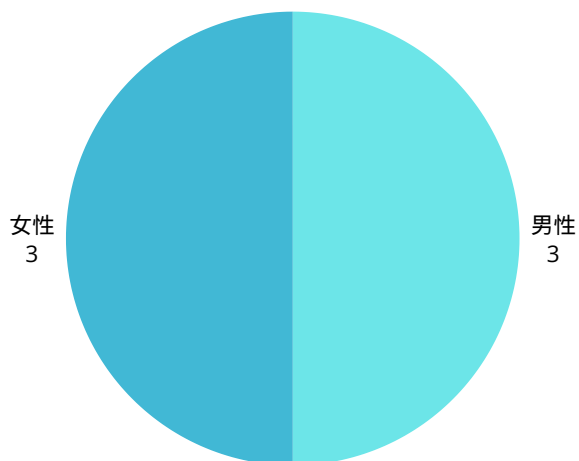
4.最後に (p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

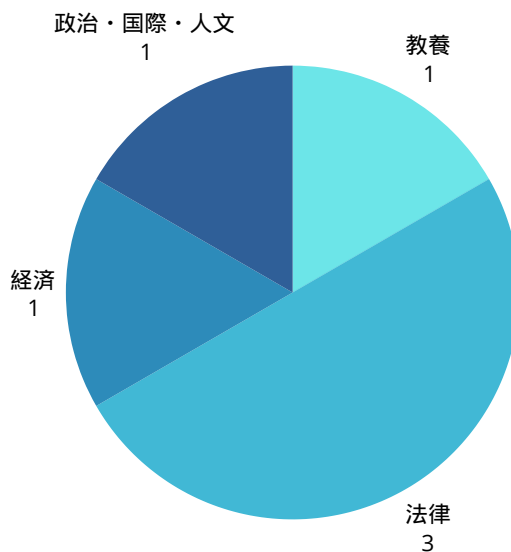
1-1

内定者基本データ

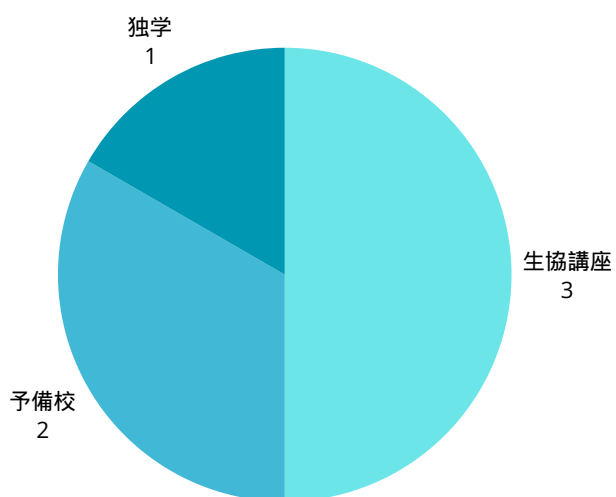
● 性別



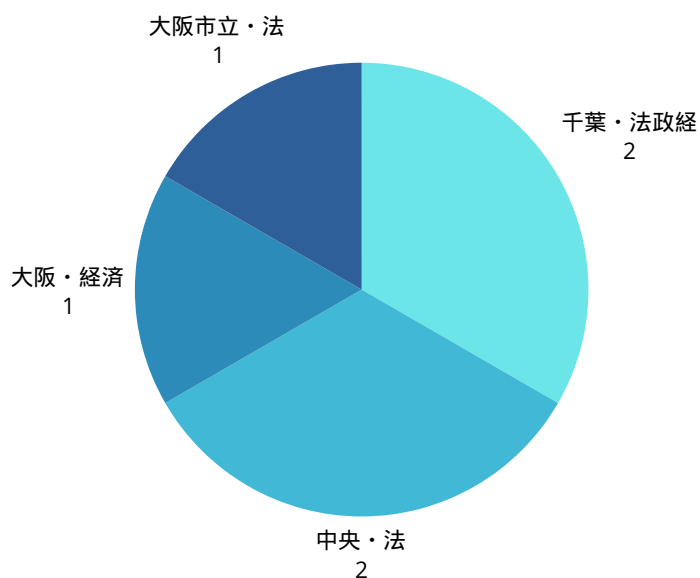
● 試験区分



● 勉強方法

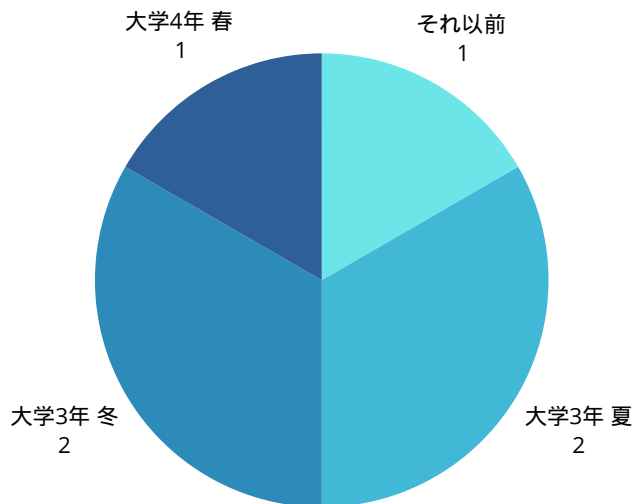


● 出身大学・学部

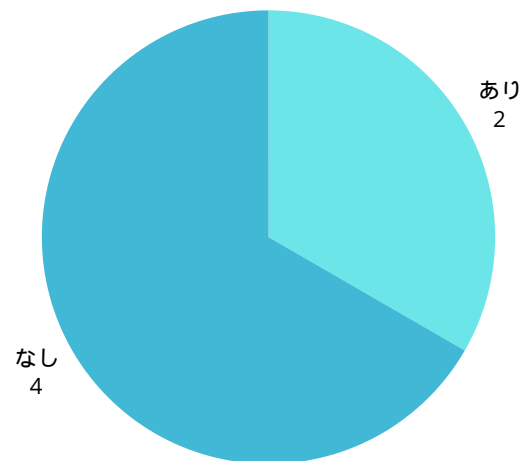


1-1 内定者基本データ

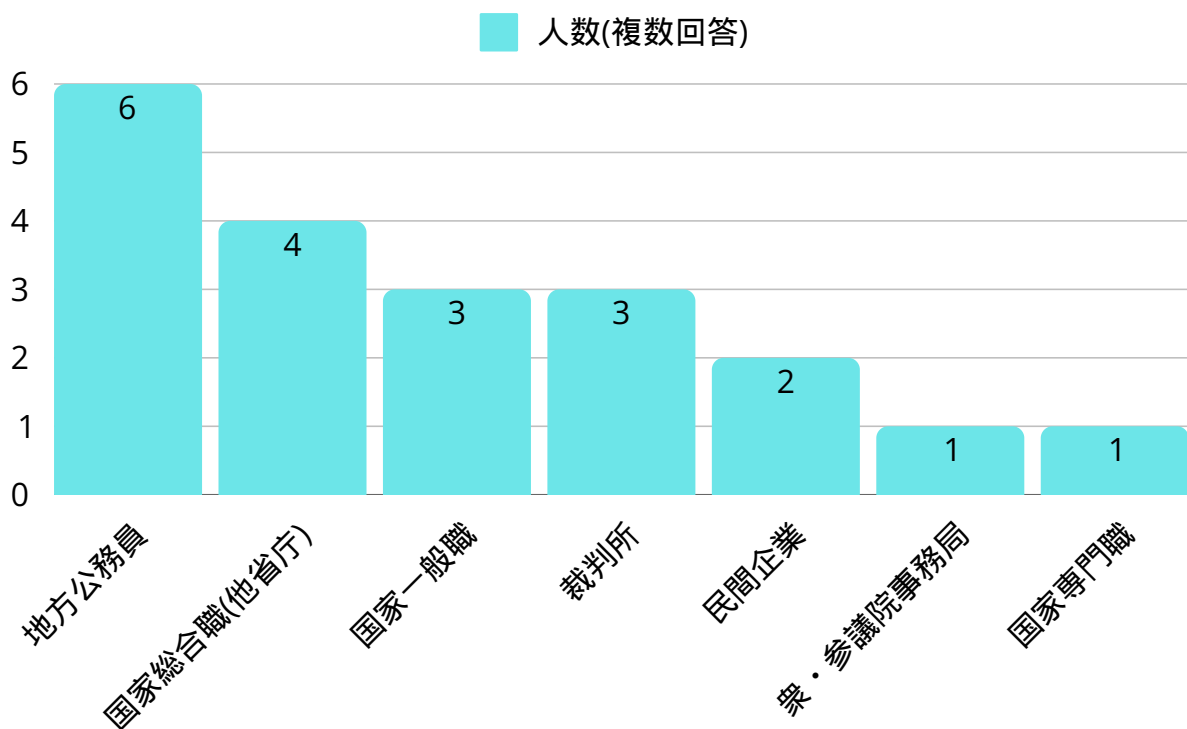
● 公正取引委員会を志した時期



● 民間就活の有無



● 併願先



今年度の内定者にプロフィールと公正取引委員会の
志望理由などを聞きました！

- ①ニックネーム(試験区分)
- ②出身学部・学科
- ③学生時代に力を入れたこと
- ④将来の夢
- ⑤入局後にやってみたい業務



- ①あるまじろ(経済区分)
- ②経済学部経済・経営学科
- ③学生支援団体の活動
- ④豪邸を建てること
- ⑤実態調査、他省庁との調整

● 志望したきっかけ

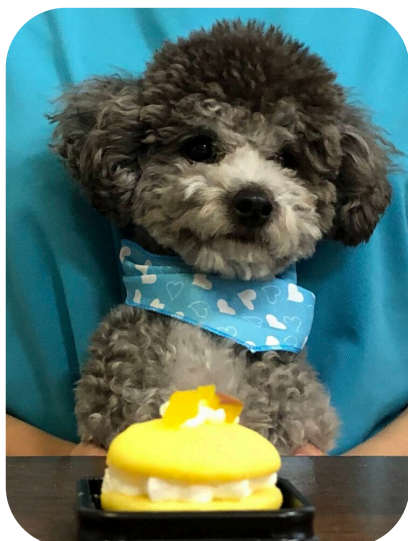
インターンシップに参加して、業務内容と職員の方々の雰囲気の両方に好感を持ったことです。

● 志望理由

学生支援団体の活動を通して「公正な社会」を実現したいと考えました。また、産業組織論を独学し、競争政策が社会の変容や技術革新に対応するための重要政策であると感じました。そして、大学で学んだデータ分析の知見を業務に活かせることと、すべての経済活動の根本にある競争政策の幅広さに魅力を感じたため公正取引委員会を志望しました。

● 最終的な決め手

業務説明会・官庁訪問を通して「数年後・数十年後に自分がその組織で活躍している姿」を1番鮮明にイメージできたことです。



- ①とんとん(法律区分)
- ②法学部法学科
- ③バドミントン
- ④一人前の社会人になること
- ⑤下請法関連

● 志望したきっかけ

高校時代に読んだ本から地位や立場に囚われず人々が活躍できる社会を作りたいと思ったことです。

● 志望理由

自らの努力、能力に見合った正しい評価を受け、活躍することのできる社会であるべきだと考えています。そのためにはフェアな活動の場を作り出し、維持することが必要と考え、公正取引委員会を志望しました。

● 最終的な決め手

もともと公正取引委員会に行くつもりでしたが、職員の方の人柄に触れてみて、さらにここで働きたいと思いました。

1-2 内定者プロフィール



- ① 征十郎(政治国際人文区分)
- ② 法学部法律学科
- ③ アルバイト
- ④ 一軒家を建てること
- ⑤ 下請法関連、事件審査

● 志望したきっかけ

業務説明会に参加し、業務内容への興味が湧いたことです。

● 志望理由

公正取引委員会の業務説明会やニュース等で、大企業による中小企業への下請けいじめや優越的地位の濫用が行われていることを知り、その是正に取り組んでみたいと感じたからです。中小企業の多い地域で育ってきたため、中小企業で働く方々の下支えになりたいと思いました。

● 最終的な決め手

官庁訪問で職員の方々が誇りをもって働かれている姿を目の当たりにしたときに、私もこの組織の一員になりたいと強く感じたことです。



- ① えんぴつ(法律区分)
- ② 法政経学部法政経学科
- ③ 部活動(野球・ゴルフ)
- ④ 120歳まで生きること
- ⑤ 不公正な取引慣行の改善

● 志望したきっかけ

合同説明会でお話を聞き、理念に共感したことです。

● 志望理由

正義感の強さから、公正な社会をつくりたいという思いがあったので、公正で自由な競争を守り促進していくことで社会を豊かにするという理念に共感しました。また、独占禁止法という軸を持ちつつ幅広い分野を取り扱うというところに魅力を感じました。

● 最終的な決め手

官庁訪問を経て、今後、公正取引委員会の存在意義が増していくと確信し、社会に大きく貢献できると感じたことです。

1-2 内定者プロフィール



- ① おいも(法律区分)
- ② 法政経学部法政経学科
- ③ アルバイト
- ④ ずっと強い胃袋を保つこと
- ⑤ 実態調査

● 志望したきっかけ

全省庁の合同説明会で話を聞いて興味を持ったことです。

● 志望理由

努力をする事業者が不当な不利益を受けない環境を整えることで、事業者の自由な挑戦を支え、事業者と消費者双方の利益を守るという唯一無二の役割に魅力を感じたためです。また、競争政策というぶれない軸を持って幅広い業務ができることに興味を持ち、志望しました。

● 最終的な決め手

競争政策への関心が官庁訪問を通して強まったことと、説明会や官庁訪問でお話しさせていただいた職員の方々の人柄に惹かれたことです。



- ① アマリリス(教養区分)
- ② 法学部法律学科
- ③ サークル活動
- ④ 資格マニアになること
- ⑤ 政策立案全般

● 志望したきっかけ

弁論部にて提案した政策がフリーランス新法として成立したと聞いたことです。

● 志望理由

就職活動の際に、日本をより魅力的な国にするために必要なことは何か、文化面と経済面に着眼しながら考えていました。その時に、経済を豊かにするためには競争環境を調整することこそが大切であるという理念に基づいて、法執行と政策立案の両輪でアプローチし、国に貢献するという公正取引委員会の理念に強く惹かれたため、志望しました。

● 最終的な決め手

官庁訪問で職員の皆様とお話しし、理念への共感、職員の方とのお話の楽しさ、他団体と比較した特異性と独立性に魅力を強く感じたことです。

2

公務員試験

2-1

ワンポイントアドバイス (p.10-12)

2-2

勉強スケジュール (p.13-14)

1.内定者紹介 (p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

3.官庁訪問 (p.15-25)

- ・事前準備
- ・当日について

4.最後に (p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

● 本格的に試験勉強を始めた時期

試験前年度の秋以降

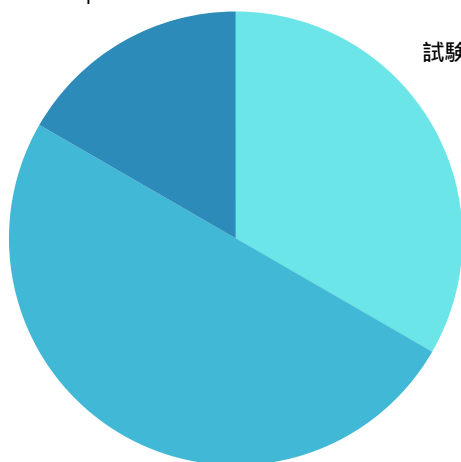
1

試験前々年度の秋以降

2

試験前年度の春以降

3



● 基礎能力試験全般

- 問題を解くスピードが大事だと感じたため、時間を測って問題を解きました。
- 過去問を解く中で、問題を解く順番や諦めるタイミングを見定めました。
- 予備校の問題集を何周もしました。毎日解き、感覚を鈍らせないようにしました。
- 数的処理、文章理解は過去問を5年分解きました。苦手だった資料解釈と文章理解の並べ替え問題は遡ってさらに前の問題も解きました。

● 専門短答試験全般

- 生協講座の授業を見て問題集を1周しました。その後は間違えた問題のみ2周目に取り組みました。
- 過去問を5年分解いて、もし同じような問題が出題されたら全て解けるようにしていました。
- 覚えられていないことをノートに書き込んで、覚えたら赤ペンで消す作業を繰り返しました。
- 過去問と問題集をとにかく周回し、判例を覚えるようにしました。

● 専門記述試験全般

- 短答試験と求められる知識のレベルはあまり変わらないので、記述試験だけのために知識を補強することはしませんでした。その代わりに短答の知識をより正確にすることを意識していました。
- 3年分の過去問を解いて実際に答案用紙に書く練習をしました。実際に解いておくことで自分なりの解答時間の使い方を身に着けることができました。
- 国家総合職とは少し傾向が異なりますが、国家総合職よりやや簡単な参議院事務局の記述の過去問を解いたのはいい練習になりました。
- 法学部なので大学の授業で答案の書き方や知識を学びました。
- 模範解答を読み込みました。
- 憲法は、重要な言い回しを1日に数個ずつ覚えめました。行政法は、過去問をひたすら解いて問題の傾向を掴みました。

● 人事院面接

- 国家公務員総合職としての志願理由を固めました。
- 基本的に民間企業の就活と同じような準備をしました。
- 予備校と大学のキャリアセンターを活用して模擬面接を受けました。
- 生協講座の事務局の方に面接カードの添削をお願いしました。
- 想定質問を考えるなどして深掘り質問の対策をしました。

● 教養区分対策

● 総合論文試験

- 人事院から取り寄せた過去問などをもとに、解答作成・自己添削・他者添削を隔週でしました。

● 基礎能力試験

- 知能分野は1日2題を早く解くことを習慣づけました。
- 知識分野は出題範囲が限られている倫理、文化、経済、地学などから順に力を入れ、1点でも稼ぐことを念頭におきました。

● 企画提案試験

- 発表された課題を元に白書を読んだり実際の取組みを調べたりしました。
- 現状と問題点、改善の提案を的確に伝えられるよう、配分を考えました。

● 政策課題討議試験

- 社会問題について、常に賛否両方の立場の意見を考えるようにしました。
- 1次試験を通過した受験生で集まって、ディベートや政策討議の練習をしました。

● 試験当日のこだわりの持ち物

- ゼリー飲料(ラムネ味)
- 休憩時間に食べるためのおかし(ラムネ・チョコレート)
- お気に入りの腕時計
- ポケットティッシュ(少し高めの鼻に優しいもの)
- 家族からもらったお守り



● 試験当日の様子で印象に残っていること

- 教養区分の2次試験は待ち時間が非常に長いうえに、晩秋なのでとても寒かったです。持参したコートとホッカイ口を重宝しました。
- 春試験の政策論文試験は、時間が長いうえに昼食の後だったので眠くなりました。途中でトイレに行くなどして気分を変えることがおすすめです。
- 机がグラグラしたので試験官の方に頼んで机を替えてもらいました。
- 国家総合職2次試験の日は花粉症をこじらせた風邪を引いてしまい、とても大変でした。当然のことではありますが、体調管理はしっかりしましょう。
- 専門記述試験のときに、選択問題の科目を記入する欄にちゃんと選択科目名を書いたか確認し忘れてしまいました。合格発表までとても不安でした。
- 人事院面接では順番が遅かったので、集合から2時間以上も待機時間がありました。提出した面接カードのコピーを準備していたので、内容を確認して時間をつぶしました。

● 勉強が辛い時や集中できない時の対処法

- 散歩をしたり、カフェに行って環境を変えたりしました。
- 採用パンフレットを読んだり業務説明会に出席したりして、モチベーションを高めました。
- ラジオや音楽を聞いたり、YouTubeを見たりして休憩していました。
- 気分転換に筋トレをしていました。
- 友達とご飯に行ってたくさんお喋りしました。
- 好きなものを食べたり、よく寝たりして体を労わりました。



内定者に試験勉強の時期別スケジュールを聞いてみました。
勉強計画を立てる際の参考にしてみてください。

1.とんとん(法律区分)の場合

2年生

秋

- 予備校に入る
- 憲法・民法の授業を見始める
- 数的処理の授業を見始める

冬

- 教養区分を受験することを決めて勉強を始める
- 毎日数的処理を解く
- 法律科目も並行して勉強する

3年生

夏

- 教養区分の勉強に専念する

10月

- 教養区分が終わり、あまり勉強せず

11月

- 法律科目の勉強を再開する
- 憲法・民法・行政法の授業を見直す
- ひたすら問題集を解く



本ページと次ページに掲載されている内定者3名は
2024年度の総合職試験を受験しています。
2024年度の試験は以下の日程で行われました。
1次試験：2024年3月17日
2次試験(人物試験を除く)：2024年4月14日
2025年度の試験日程は人事院HPをご確認ください。

12月

- 刑法・商法・労働法の授業を見始める
- 憲法・民法・行政法は問題集を繰り返し解く
- 数的処理・文章理解は毎日触れるようにする
- 専門記述の授業を少しずつ見始める

1月

- 問題集の間違った問題をひたすら繰り返す
- 専門記述の模試を受ける
- 過去問を解き始める

2月

- 間違えた問題や過去問を繰り返し解く
- 時事を詰め込む

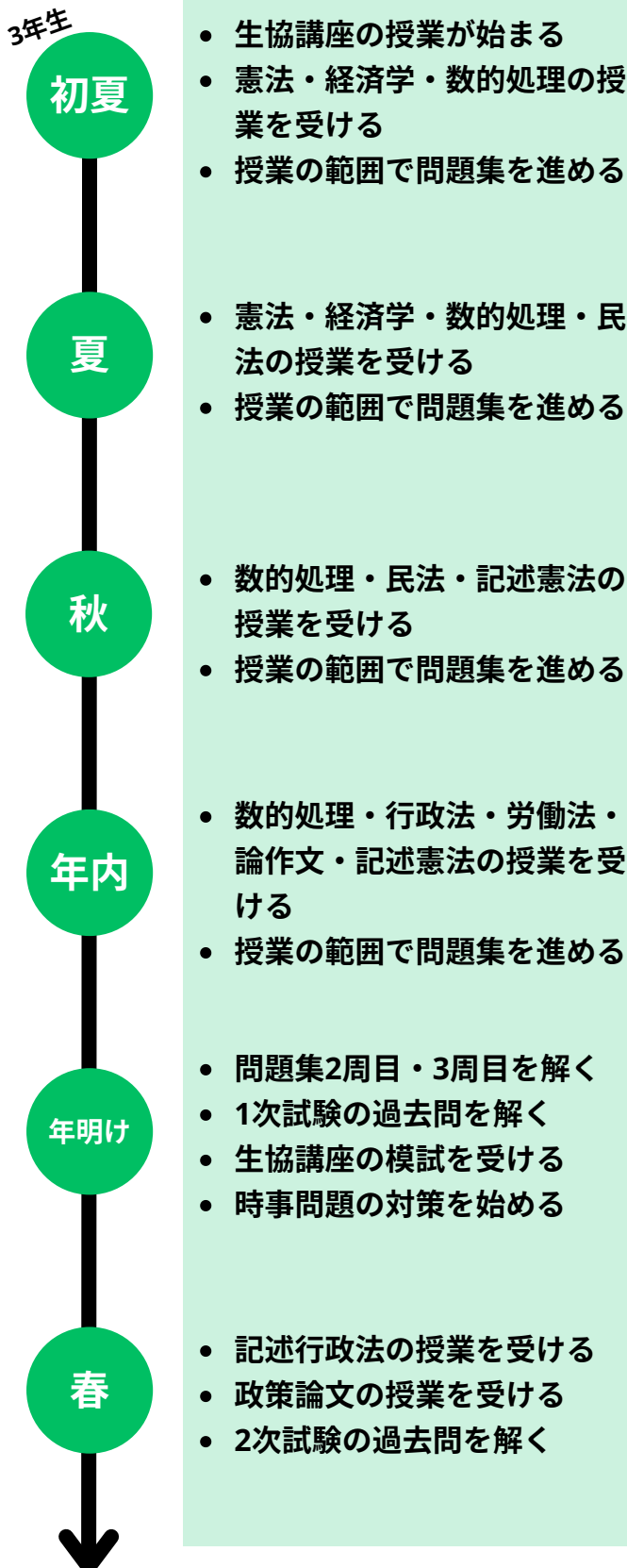
3月

4月

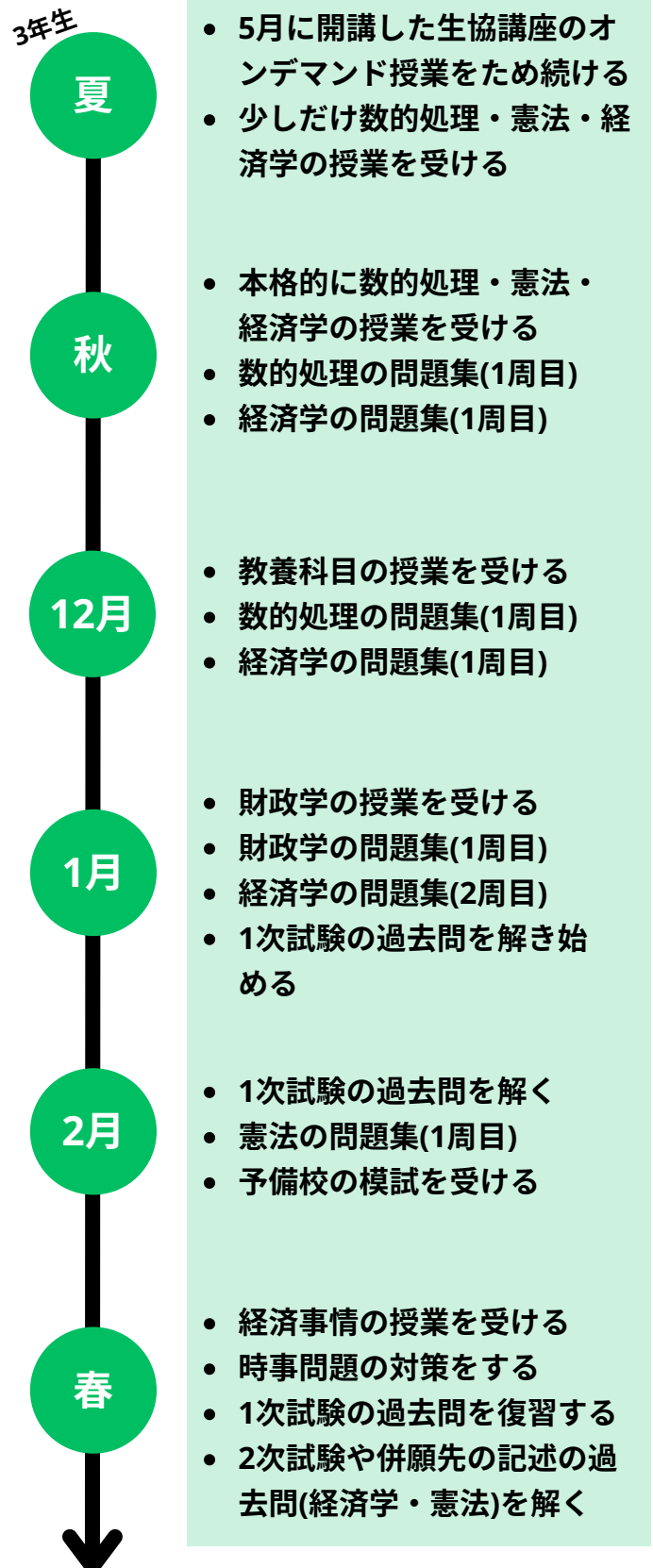
- 専門記述の勉強をする



2. えんぴつ(法律区分)の場合



3. あるまじろ(経済区分)の場合



3

官庁訪問

3-1

事前準備 (p.16-19)

3-2

当日について (p.20-25)

1.内定者紹介 (p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

2.公務員試験 (p.9-14)

- ・ワンポイントアドバイス
- ・勉強スケジュール

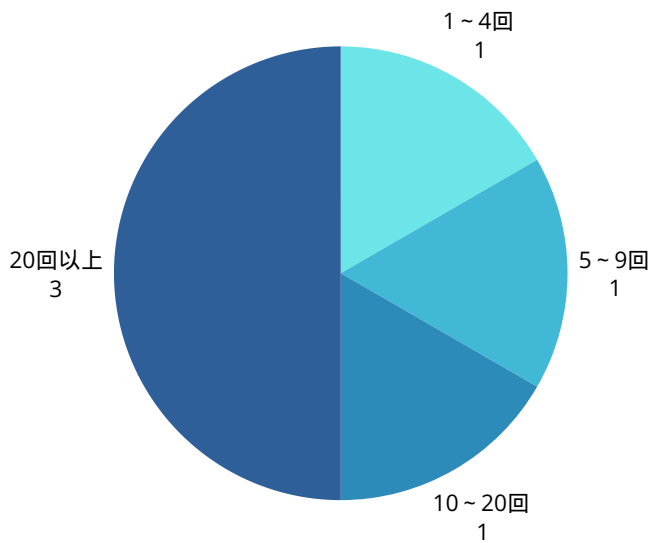
4.最後に (p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

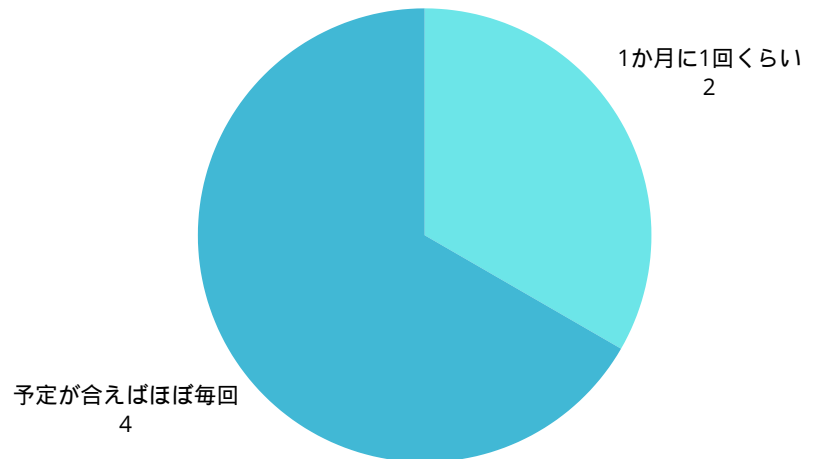
3-1

事前準備

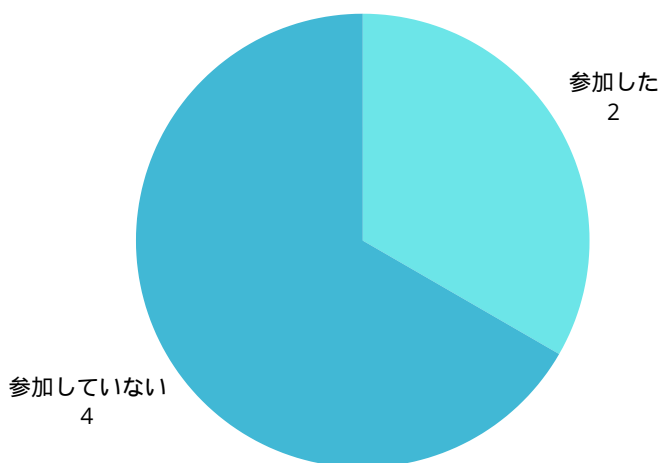
● 説明会の総参加数



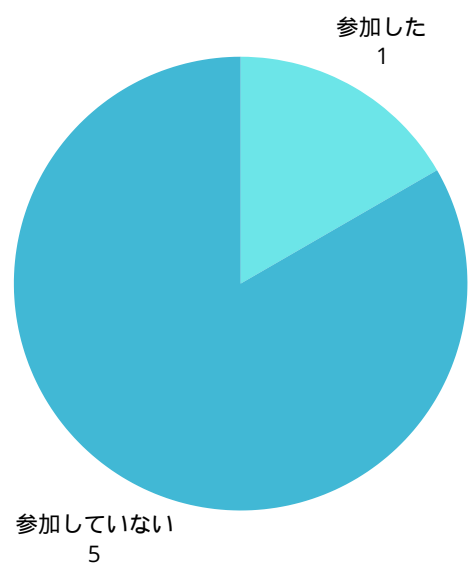
● 説明会に参加した頻度



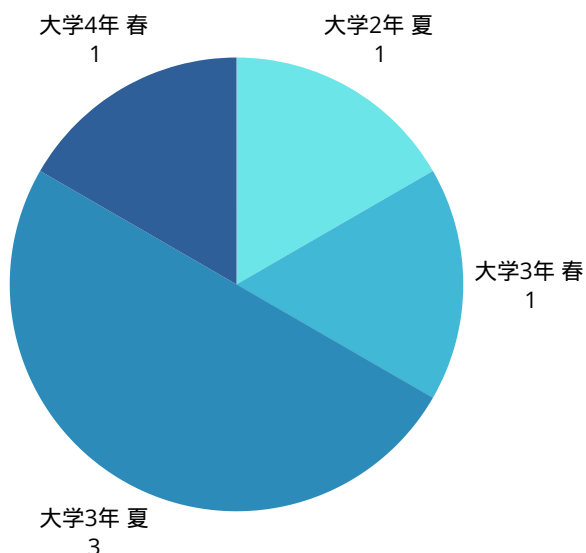
● インターンシップの参加状況



● 職員訪問の参加状況



初めて説明会に参加した時期



初めて説明会に参加したきっかけ

- あまり深く考えすぎずにとりあえず飛び込みました。
 - 人事院や大学生協が主催する大規模説明会で初めて説明を聞きました。
- ※初めて参加したイベントがインターンシップだった内定者もいました！

インターンシップの内容

- コロナ禍のためオンライン開催でしたが、グループに分かれてディスカッションをしたり、業務説明を聞いたりしました。
- 職員の方との座談会もありました。個人的には、模擬事件審査や模擬相談対応のグループワークがとても印象に残っています。

職員訪問の内容

- フリーランス新法について興味があったため、その分野を担当している若手職員の方とお話ししました。官庁訪問についてもお聞きしました。

● 役立った事前準備

- 白書(公正取引委員会年次報告 独占禁止白書)を通読しました。
- 直近1年間の公正取引委員会に関係する新聞記事を集めて、記事をスクラップしました。公正取引委員会の政策に対する社説や論評を読むことも参考になりました。
- 直前期に日経電子版を契約していました。一般的な全国紙よりも公正取引委員会に関係する情報が多かった印象があります。
- 公正取引委員会が現在何に取り組んでいるかを一通り調べたことです。官庁訪問では、あまり関心がなかった分野を担当している方ともお話をすることが何回かあったため、その際にその分野について触れたことがあるかないかで話の内容や濃さも大きく変わると感じました。
- 実態調査に関心があったので実態調査の報告書を読んだり、今まで参加した説明会の内容を復習したりして政策を勉強しました。
- 原体験の振り返りや自己分析をしっかりとしたうえで面接練習をたくさんしました。官庁訪問本番では、あまり緊張せずにすらすらと志望動機が話せました。
- 各課室への逆質問をたくさん用意しました。逆質問だけの面接もあったので、用意した質問をフルに活用しました。
- 説明会に参加して情報を収集していました。また、それらに対して疑問点や自分の意見を考えてノートに書き出しました。
- 官庁訪問をする大学の同期を集めて、ES(エントリーシート)の確認や面接の受け答えの練習をしていました。

● あまり役立たなかった事前準備

- 官庁訪問では面接カードに忠実に沿った面接がなかったので、面接カードの一言一句について時間をかけて添削する必要はあまりなかったと思います。
- 想定問答集を作成しましたが、官庁訪問中に見返す時間はあまりなかったです。
- しなくてよかった事前準備はないです。無駄なことなんてない！

● 官庁訪問のESで気を付けていたこと

- 見本を確認せずにESを作成したら何ヶ所か間違えているところがあって、官庁訪問中に気づきました。きちんと見本を見ながら丁寧に書きましょう！！
- 結論から書くことを意識していました。教授や親などいろいろな人に見てもらった記憶があります。
- 就活の軸や理想とする社会像が併願官庁でも違和感ないか、自分の心に嘘をついていないかに気を付けて内容を検討しました。
- 枠が非常に狭いので簡潔にわかりやすく書くことを意識していました。
- 面倒くさがらずにできる限り早く書くようにしていました。

内定者に官庁訪問までの時期別スケジュールを聞いてみました。
今後のスケジュールを立てる際の参考にしてみてください。

1.あるまじろ(経済区分)の場合

- 試験勉強の進捗具合に焦る
 - 様々な省庁の説明会に参加する
 - 職員訪問に参加する
 - 民間企業のインターンシップに参加する
-
- 説明会に参加する省庁をある程度絞り始める
-
- 試験勉強を特に頑張る
 - 公務員のインターンシップに参加する
-
- 官庁訪問する省庁を決めて、その省庁の説明会にのみ参加する
 - 1次試験の本番を頑張る
 - 面接対策を始める
 - 民間企業の面接を受ける
-
- 官庁訪問する予定の省庁の説明会に参加する
 - 2次試験の本番を頑張る
 - 面接対策のみにシフトする
-
- 自己分析(志望動機)をやり直す
 - 新聞・白書などを読む
 - 説明会を振り返る
 - 知人と面接練習を繰り返す

2.アマリリス(教養区分)の場合

- 国家総合職教養区分に合格する
 - 春試験（技術系・一般職・地方公務員）に向けた勉強を始める
-
- 民間企業の就活を再開する
 - 省庁にいる知人や先輩に官庁訪問や省庁内でのお話を伺う
 - 説明会に参加し始める
-
- 民間企業から内々定を頂く
 - 公務員の就活にシフトチェンジをする
-
- 霞ヶ関OPENゼミ(人事院主催の大規模説明会)をきっかけに全ての省庁の説明会に参加する
 - いくつかの省庁の職員訪問に参加する
-
- 国家公務員としての志望理由を詰める
 - 併願先の試験を受ける
-
- 大学キャリアセンターや知人の協力を得て面接対策を行う
 - 訪問する省庁を選定する

12月

1月

2月

3月

4月

5月

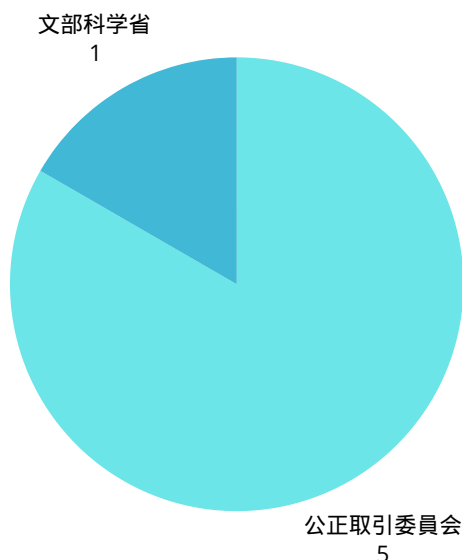


※2024年度の官庁訪問は6月12日～6月24日で行われました。

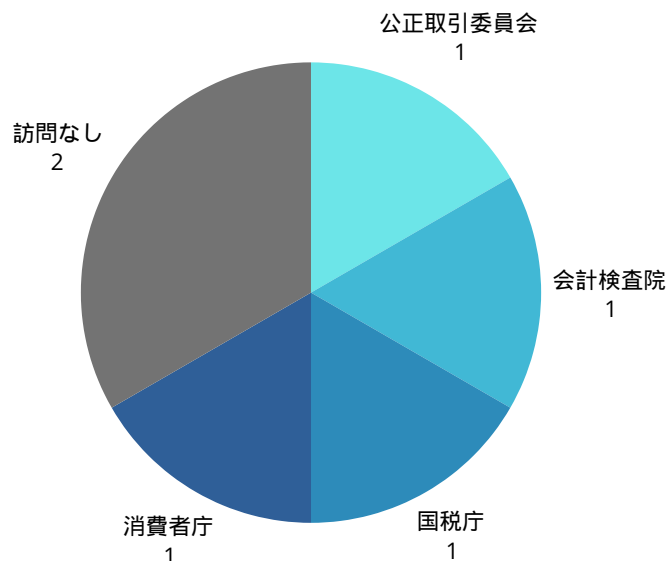
3-2

当日について

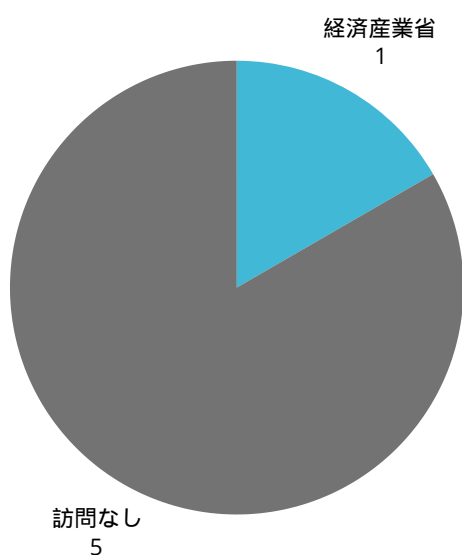
● 第1クール1日目の訪問状況



● 第1クール2日目の訪問状況



● 第1クール3日目の訪問状況



コラム：訪問数の正解は？

官庁訪問は基本的に省庁を3つまで訪問することができます。機会を最大化するために3つ訪問する人もいれば、対策にかかるコストを考慮して数を絞って訪問する人もいます。筆者は予約の段階では3つ訪問する予定でしたが、実際には3日目を欠席しました。理由は以下の2つです。まず、体調が万全でなかったことです。緊張が続く日々には体が耐えきれませんでした。あとは、日程的に休みがないことです。土日には他の試験、週明けからは官庁訪問となると、休息や面接対策のため時間が必要でした。訪問数に正解はないので、ぜひ戦略を立ててみてください。

● 他省庁の訪問状況とその理由

- 2日目に消費者庁を訪問しました。私たちが必ず関わる消費者問題に、様々な省庁と連携して取り組むことに魅力を感じたからです。
- 2日目に国税庁を訪問しました。公正な社会を目指すという点が公正取引委員会と共通していたからです。
- 2日目に会計検査院を訪問しました。公正な社会の実現を目指すという点と、対象が特定の分野に留まらないという点が公正取引委員会と共通していたからです。
- 1日目に文部科学省を訪問しました。文化活動に携わった経験から、文化・科学技術分野が効果的・経済的に活用されていない面を改善したいと考えたからです。
- 3日目に経済産業省を訪問しました。民間企業の就活を経て多くの企業の方と話した体験から、日本の国富増大のためにより広い視点から経済を回すことを考えたいと感じたからです。
- 公正取引委員会以外は訪問しませんでした。総合職に縁がなかった場合は一般職でリベンジしようと思っていました！

● 当日の持ち物

- 資料(白書、パンフレット、説明会で取ったメモ、ES、パソコン、面接対策のメモ、印刷した新聞記事)
- 筆記用具(鉛筆、ノート、ルーズリーフ、メモ帳)
- 食料(弁当、お菓子、ゼリー、飲み物)



● 待機時間の雰囲気

- 堅苦しい雰囲気はなく、初日から訪問者同士の会話がありました。面接後には、どんな話を聞いたかななどの情報交換がありました。
- 面接内容の共有や雑談があり、非常に良い雰囲気でした。
- クールが進むごとに訪問者同士の仲が良くなり楽しくなりました。
- とても和やかでした。面接で聞かれたことや面接官の属性、政策知識などを共有していました。官庁訪問は長丁場だったので、訪問者同士で交流できたことはとてもよかったです。



Q 服装は本当にクールビズで大丈夫ですか？

官庁訪問
Q&A①

A はい！大丈夫です！筆者をはじめ訪問者のほとんどが第1クールから第4クールまで、白のYシャツに黒のスーツのズボンを着ていました。少数派ではありましたが、ジャケットを着用している人もいました。

● 待機時間にしていたこと

- 面接を振り返り、内容や感想をノートに書き出していました。
- 面接で知った新事実について自分なりに調べていました。
- パンフレットを読み込んでいました。
- 他の訪問者と情報交換や雑談をしていました。
- お菓子をもぐもぐしていました。
- 次の面接の想定をしていました。

● 面接の雰囲気・感想

- 小部屋で1:1の対談をしました。どの職員の方も気さくに接してくださりました。
- 想像以上に色々な事をお聞きすることが出来たので楽しかったです！
- 厳かな雰囲気はなく、日常の会話をするような感じでした。職員の方から経歴と現在の業務について説明され、こちらからそれに関連した質問をするという流れでした。政策について、自分の考えを聞かれることもありました。
- どの職員の方も優しかったです。私が曖昧な質問をしてもしっかりとした答えが返ってきて、職員の方への憧れが強まりました。
- 面接官の方はにこやかで、はきはきしている方ばかりでした。部屋は取調室や窓のない会議室が多く、少し重苦しい印象でした。面接の内容は、逆質問のほかに、学生時代に力を入れたことや志望理由についての深掘り質問も多かったです。
- 楽しかったです。少し難しい質問もありましたが、自分の意見を伝えたら、しっかりとフィードバックしていただけたのでとても勉強になりました。

● 印象に残った質問

- 総合職として働く覚悟はありますか？
- 今の日本の経済状況についてどう思いますか？
- 公正取引委員会をどんな組織にしていきたいですか？
- なぜあなたが公正取引委員会の総合職職員でないといけないのですか？



Q 地方在住です。こういったスケジュールでホテルを予約しましたか？

官庁訪問
Q&A②

A 第1クールの日程を予約し、土日は地元の自治体の試験を受けに実家に帰りました。その後、第2クールから第4クールまでは1週間連続でホテルを予約しました。

面接で評価されていると感じたところ

- 公正取引委員会に対する熱意や政策について広く興味を持って調べている点です。あとは、職員の方との会話を楽しんでいた姿勢だと考えています。
- 相手の話をしっかり聞くことや自分の考えを一生懸命伝えることなど、面接の内容より面接に臨む態度を評価されていると感じました。
- 志望理由が明確であったところが評価されていたと思います。とくに、他省庁ではなくて公正取引委員会でなければいけない理由を面接官が納得するように説明できるかは重視されていると感じました。
- 一般に政策知識の優先度は低いとは言われますが、政策知識があればあるだけ評価はしてもらえんと思います。

大変だったこととその乗り越え方

- 慣れないホテル生活でひどい時は一日一食の生活をしていたので、食事はきちんと取ったほうがいいと思います。
- 精神的に疲れたので、美味しいご飯を食べてしっかり寝ました。
- 待合室が意外と暑くてのどが渴きました。庁舎の自販機を利用することができたのでたくさん飲み物を買いました。
- 連日の満員電車は辛かったです。音楽を聴くことで気分を上げて乗り切りました。
- 緊張でお腹にガスが溜まったことです。炭酸飲料を飲んで乗り切りました。
- 待機中はメンタルがしんどかったです。面接は楽しかったので面接で回復していました。

官庁訪問中にしていて効果があったこと

- 他の訪問者とよく話したことです。情報共有できたことはもちろん、緊張をほぐせたので良かったです。
- 朝ご飯をしっかり食べたことです。
- 面接した職員の方の名前を覚えていたことです。面接で今までの面接内容や印象に残ったことを答えるときに焦らなくて済みました。



Q 地方在住です。どこのホテルに宿泊していましたか？

官庁訪問
Q&A③

A 六本木のアパホテルに宿泊していました。同じようにアパホテルに泊まっている知人は多かったです。個人的には、湯船に浸かって疲れをとることができるので、大浴場がついているホテルがおすすめです。

● 後悔していること

- クールビズでよいと聞いていたのですが、心配でジャケットを持っていきました。ですが、職員の方が脱いでいいと言ってくくださったので、初めから持っていかなくてよかったなと思っています。
- 4月中旬まで筆記試験の勉強に専念して本格的な官庁訪問対策が5月からとぎりぎりだったことです。なんとか間に合いましたが、年明けから官庁訪問を見据えて官庁訪問対策に少しずつ取り組むべきだったと思います。
- 緊張してたくさんトイレに行って、その度に手を洗ってハンカチがびしょびしょになってしまったので何枚か持っていけばよかったと思いました。
- 部署ごとにどんなことをしているのかをしっかりとインプットしておくべきでした。

● 官庁訪問の注意点

- 過度に緊張しすぎず、リラックスして臨むことが大事だと思います。私も官庁訪問前には、他の訪問者の状況が分からず、精神的に不安定でした。振り返ると過度に不安になっていただけだったと思います。
- 志望動機がとても重要視されている気がしたので、しっかりと志望動機を固めるべきだと思います。
- 集合時間の10分前に到着したらほとんど席が埋まっていました。早めに来るべきだと思います。
- 昼休憩の時間以外はコンビニに行ける雰囲気ではないので、間食やその他の必要なものはお昼にまとめて買うべきだと思います。
- 面接ごとに荷物を全部持って移動するので、待合室で荷物を広げすぎないほうがいいと思います。
- ポケットサイズのメモ帳はすぐ取り出せて便利ではありましたが、1日で使い切ってしまううえに見返しづらいのでノートの方がいいと思います。



官庁訪問 Q&A④

Q

あまり説明会に参加できていません。
こんな状態で官庁訪問に行っているのか少し不安です…。

A

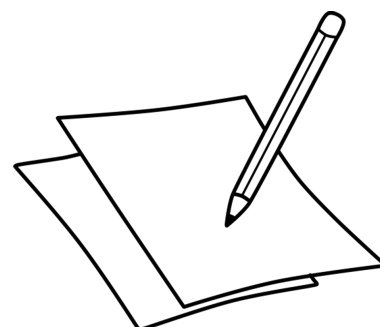
説明会の総参加回数が少ない内定者もいるので安心してください。
公正取引委員会の官庁訪問では事前の取り組みではなく、官庁訪問当日のパフォーマンスが評価されていると感じました。
採用過程においても「公正で自由な競争」が守られています。

● 官庁訪問の実際の流れ(第1クール)

集合	簡単な流れと注意事項の説明
原課面接①	アイスブレイク 志望動機、課外活動の深掘り
原課面接②	実態調査についての逆質問
昼食休憩	
原課面接③	関心事項、志望動機の深掘り 実態調査についての逆質問
原課面接④	志望動機の深掘り 政策検討会についての逆質問
原課面接⑤	他省庁との調整についての逆質問
出口面接	原課面接のフィードバック

● 官庁訪問の実際の流れ(第2クール)

集合	
原課面接①	新法施行準備についての逆質問
昼食休憩	
原課面接②	課外活動の深掘り
原課面接③	志望動機の深掘り 出向経験についての逆質問
出口面接	原課面接のフィードバック



Tips

- 原課とは特定の政策分野を担当している部署のことです。今年度の官庁訪問は原課面接がほとんどでした。
- 原課面接では、面接カードに記入した入局して関わりたい業務と関連のある部署の方のお話をたくさん聞くことができました。
- 昼食は食堂やコンビニ、弁当屋などから選べましたが、コンビニで買ったものを待合室で食べる人が多かったです。
- 面接の回数や内容には個人差がありました。上記のスケジュールはあくまで一例です。

4

最後に

4-1

就職活動を振りかえって (p.27)

4-2

メッセージ (p.28-29)

1.内定者紹介 (p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

2.公務員試験 (p.9-14)

- ・ワンポイントアドバイス
- ・勉強スケジュール

3.官庁訪問 (p.15-25)

- ・事前準備
- ・当日について

● 内定者が考える公正取引委員会に求められている人材

- 幅広い分野に興味を持っている人だと思います。
- あらゆる立場に立って物事を考えられる人だと思います。
- コミュニケーションをしっかりとることができる人だと思います。
- 公正取引委員会の理念に共感し社会をより良くしていきたいという気持ちがある人だと思います。
- 知的好奇心があって、前向きで新しいものが好きな人だと思います。
- あらゆるタイプ・立場の人と協力して物事に取り組める人だと思います。

● 内定者が考える内定を貰えた要因

- 特定の分野だけではなく幅広い分野に興味を持っていた、かつ、知識があるだけでなく併せて自分なりの考えを持っていたからだと思います。
- コミュニケーション能力と官庁訪問中の成長を評価していただけたからだと思います。
- ここで働きたいという熱意をしっかりと伝えられたことと、とにかく全力で面接に挑んだことを評価していただけたからだと思います。
- 説明会への積極的な参加や事前の情報収集で他の訪問者よりも政策理解度が高かったからだと思います。
- 全ての面接をにこやかに乗り切り、時間がオーバーするくらいまで逆質問を出せたからだと思います。

● 就職活動における一番の山場

- 官庁訪問です。心身ともに大変でしたが、本当に貴重な経験で、成長できた期間だったと思います。
- 1次試験前の時期です。試験に受かるのか、受かっても官庁訪問を突破できるのかという公務員試験全体に対しての不安がありました。
- 官庁訪問前の準備期間です。他の訪問者のレベルの高さに自信を無くすなど、精神的に苦しかったです。
- 官庁訪問1日目の訪問先を公正取引委員会にすると決めたときです。採用枠が少ないので勝算があるのか不安でしたが、公正取引委員会に行きたいという気持ちははっきりしていたので全力で挑みました。



個性豊かなメンバーによるハンドブック、
いかがでしたか？
この時期にしかできないような色々な道を
模索しながら、自分自身を見つめ直す機会
にしてみてください。
読者の皆様が、納得のいく居場所に出会え
ることを応援しています。

試験勉強や官庁訪問など不安なことは
たくさんあると思いますが、悩むとき
は悩んで、ですが過度に不安に思うこ
となく、適度にリフレッシュしながら
乗り切ってほしいと思います。

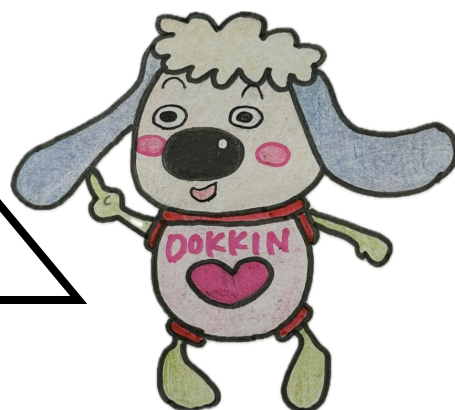


就職活動はとても苦しいもの
だと思いますが、最後は自分
を信じて頑張ってください！
心から応援しています。

就職活動お疲れ様です。

これをしたい！と思えるものに出会えたときは、その気持ちを大切に、後悔ない形で終わられるように頑張ってください。

長丁場なので、美味しいものを食べたり、友人とお喋りしたりして、息抜きも忘れずにしてくださいね！応援しています！



試験勉強、就職活動お疲れ様です。
健康第一で、楽しみながらも最後まで諦めずに頑張ってください！
夢にときめけ！明日にきらめけ！

最後まで読んでいただきありがとうございました！

私が就活生だったときは、内定者ハンドブックの志望動機や官庁訪問のページをよく読んでいました。ですので、今年の内定者ハンドブックが読者のみなさんにとって有意義な内容になっていれば幸いです。これから就活をしていると、辛い瞬間が多々あると思いますが、それを乗り越えた先には自分に合った就職先が待っているはずです！

陰ながら応援しています！





2024-2025 公正取引委員会内定者ハンドブック ～総合職～

制作：2024年度公正取引委員会総合職内定者一同

- 本冊子の内容を無断で複製・転載、ネット上に公開することを禁止します。
- 本冊子を転売することを禁止します。
- 本冊子の内容は、内定者有志によって独自に作成されたものです。実際の委員会の見解とは異なる場合があります。